

研究実施に関する情報公開

臨床研究倫理審査委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。

この研究においては、患者様のカルテに記載された臨床データを研究資料として使用させていただきます。患者様には臨床データ利用の目的と趣旨をご理解いただきますよう宜しくお願い申し上げます。また、研究対象者となる患者様は研究実施されることに拒否することができます。その場合は産科婦人科スタッフ又は、下記問い合わせまでご連絡下さい。研究に参加することに拒否された場合でも、不利益が生じることはありません。

研究課題名： 婦人科悪性腫瘍終末期患者の腸管閉塞に対する外科的介入に関する検討
研究期間： 臨床研究倫理審査委員会承認後～平成 31 年 3 月 31 日
対象材料： 診療記録情報
目的： 婦人科悪性腫瘍終末期の腸管閉塞（malignant bowel obstruction; MBO）に対する外科的介入の影響・効果を調査し、どのような患者さんに有益であるかを明らかにすることを目的としています。
研究対象： 2004 年から 2014 年までに婦人科悪性腫瘍終末期の MBO に対して外科的介入を行った患者さん
研究に用いる情報の種類： 診療録から、年齢、過去の手術歴、血液検査結果、病気の診断名と治療内容、手術後の食事摂取可能期間 等、を調べます。
方法： 研究対象となる患者さんの診療記録より、調査項目についてデータを収集する。 この調査研究ではお名前、住所、電話番号、カルテ番号等の個人を特定できるような情報は伏せられたままデータを集計しますので、あなたのプライバシーは厳重に守られます。
問い合わせ： 琉球大学医学部附属病院 産科婦人科医局 〒903-0215 沖縄県中頭郡西原町字上原 207 Tel:098-895-1177 Fax:098-895-1426 【研究責任者・担当者】 琉球大学大学院医学研究科 女性・生殖医学講座 教授 青木 陽一